

様式第3号（第9条関係）

会 議 録

会 議 名	平成28年度第2回嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	平成28年8月10日（水）				13時30分	
					15時30分	
開 催 場 所	嵐山町役場 205会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 （1）会議録の署名人の任命について （2）アンケート結果概要（速報）について （3）第3次嵐山町男女共同参画プランの骨子（素案）について （4）その他 4 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
委員出欠状況	会 長	寺山サキ子	出席	委 員	山中 馨	欠席
	会長代理	宮本 紀子	出席	委 員	番場 順子	出席
	委 員	藤野 哲男	出席	委 員	須永 圭一	欠席
	委 員	松本 洋治	出席	委 員		
	委 員	引間 紀江	出席	委 員		
	委 員	大久保 勉	欠席	委 員		
	委 員	阿部 典子	出席	委 員		
その他出席者	青木課長			松浦主査		
事 務 局	伊藤副課長			江黒主事		
次 第	顛末（要点筆記）					
1 開 会	青木地域支援課長					
2 あいさつ	寺山会長					

### 3 議 題

(1) 会議録の署名  
人の任命について

(事務局)

- ・議事の進行については審議会条例に基づき寺山会長にお願いしたい。

(寺山会長)

- ・会議録の署名について事務局から説明願いたい。

(事務局)

- ・事務局より、会議録署名委員については、名簿順で引間委員、阿部委員にお願いしたい旨を説明し、了承された。
- ・事務局より、資料に基づきアンケート結果（速報）について説明した。

(2) アンケート結  
果概要（速報）に  
ついて

(寺山会長)

- ・前回と比較して回答率が低いことが残念に思う。

(宮本会長代理)

- ・前年度の回答率を書かないほうがいいのかとも思う。

(引間委員)

- ・やはり回収率が悪いのは非常に残念に思う。嵐山町で実施する他の調査に比べても低いのではないか。自由記述と合わせても、男女共同参画への意識が実感として伴っていないことが回収率にも反映されているのではないか。それを踏まえて今後の対策を考えるべきだと思う。
- ・人口構成比から見ると、若年層が少ない。前回と比べシニア層の回答が減ったことで回収率が変わったのと、回収率の性差もあるかと思うので、考慮すべきだと思う。
- ・北部、中央、南部の地区ごとの特徴があり、興味深い。じっくりデータを分析する必要があると思う。
- ・内閣府との比較もあるかと思うので、今後プラン策定にあたり必要なデータを取りきれているかも含めて検討した方がいい。

(宮本会長代理)

- ・嵐山町の町民を意識した調査・計画が必要。ジェンダーに関する意識や実生活が見え、嵐山町における実態が把握できたことはよかったと思う。
- ・調査を踏まえて今後のアクションを考えていくべき。
- ・地区によっての差が見えて面白い。
- ・4年制大学出身の人は職場にいる時間が多く、地域にいる時間が少ないのではないかと思った。

(松本委員)

- ・回答率が前回と比べて低いのはなぜか。どういう調査をしたのか。

(宮本会長代理)

- ・期間が短かったのか。

(事務局)

- ・調査期間はほぼ同じです。前回調査と比較し、アンケートに若年層の割合を多くしたことが原因の一つと考えられます。前回調査では完全無作為抽出をして、回答率はよかったのですが、高齢者の回答が多く、若い人の回答比率が低くなっていました。今回は、年齢層のバランスを考慮し無作為抽出しました。

(宮本会長代理)

- ・ 回答を催促した方が回収率は上がったのではないか。  
(事務局)
- ・ アンケート提出期限の通知など3回出すと回収率が上がると言われて  
ています。今回は予算もなく行いませんでした。  
(寺山会長)
- ・ アンケートの項目も多く悩んでしまうのも原因の一つではないか。  
(事務局)
- ・ アンケート項目は、埼玉県と比較しても少なくするよう配慮しまし  
たが、それも原因かと思われます。
- ・ ただし、統計学的には、385件回収できれば嵐山町として信頼で  
きるサンプル数に達していると言われていたため、今回の件数でも  
統計上の問題はないと思われます。  
(松本委員)
- ・ 男女共同参画については、委員をやるようになって意識するようにな  
った。何か新しいことをやっていかないと意識は変わらない。ヌ  
エックがあるので、嵐山町は環境が恵まれているし、意識が高いの  
ではないか。  
(事務局)
- ・ アンケートの結果は、埼玉県における調査結果とあまり大きな違い  
はありませんでした。
- ・ 傾向としては、多少、男女共同参画の認識が高いと思われます。  
(寺山会長)
- ・ 国立女性教育会館がある嵐山町は男女共同参画の意識が高いといわ  
れるようになればいいと思う。  
(阿部委員)
- ・ 問4の(5)自治体・PTA活動の項目に関して、この2つを分け  
ると結果が変わったのではないか。自治体活動は男性が、PTA活  
動は女性が行うという家庭が多いと思う。
- ・ 男女共同参画という考え方について、女性が、男性と同じように働  
けるように…というところに違和感を覚える。女性でも男性でも希  
望を持っている人がいて、希望が叶えられるかどうかの問題なの  
ではないか。フルタイムで働きたい人もいれば、家事をやりたい人も  
いる。今の生活が幸せかどうか重要なのではないか。
- ・ アンケートでそういう設問があってもいいと思った。  
(引間委員)
- ・ 男女共同参画社会とは男女の別をなくすことではない。その違いや  
多様性を踏まえつつ、それぞれの状況や生き方にあわせて選べるこ  
と、そして希望する生活や働き方ができない場合、なぜそれができ  
ないのか、どうしたらできるのかを考えることが大事ではないか。
- ・ 希望の背景にある数字を読み取っていくべき。  
(寺山会長)
- ・ 男性も女性も自分の意思でやりたいことを選べる方がいい社会だ  
と思う。男性と女性が同じことをやるのが男女共同参画ではない。  
男性だから、女性だからではなく、やりたいことに挑戦できるこ  
とが大切。それがまだ、正しく理解されていないのでは。それが根  
本的な問題だと思う。  
(阿部委員)

・男女共同参画について理解されていない方は、このアンケートが送られてきたときにどう思うのかと考えてしまった。

(宮本会長代理)

・アンケートの最初の文に解説をつけるなど、次回以降のアンケートをとる際の工夫を考えたほうがよい。

(引間委員)

・回答の誘導をしないようにも気をつけたほうがいい。

(事務局)

・今回のアンケートは、県との比較をしたかったこともあり、県の調査をベースに作成し、表現もできるだけ県の調査と同じになるようにしました。自治体活動・PTA活動については、どちらかのを主と考えて回答したかにもよってしまい、今後は検討していきたいと考えています。

(藤野委員)

・他と比較するには今回の調査はよかったと思う。回収率を上げるために注釈等を入れて、回答を誘導されるのも恐い。アンケートについては、返ってきたもので判断するしかないのでは。

(番場委員)

・回答率が低いことは気になった。結果には関係なくとも、前回に比べて明らかに低い。

・以前無作為でアンケートが来たことがあり、出さなくていいかなと思ってしまった。何の役に立つのか、出す必要があるのかと考えてしまう。アンケートの出し方を考えたほうがいいのではないか。

・嵐山町が住みやすい町だとみんなが言っているのは聞いたことがある。もっと働きやすい環境になったらいいと思う。

(事務局)

・アンケートがどう利用されているのかは、今後の取り組みを通じて町民の皆様に伝えていきたいと考えます。具体的には、広報紙等で報告していきます。

(3) 第3次嵐山町男女共同参画プランの骨子(素案)について

・3次嵐山町男女共同参画プランの骨子(素案)について、事務局より説明

(宮本会長代理)

・課題に「女性に対するあらゆる暴力の根絶」というのが入るのではないか。

(事務局)

・内容としてそういったものも含めて考えたいと思います。今回はある程度の素案を示させてもらったものです。

・基本的には、条例による理念があり、そして課題から施策を立てることとしたいと考えています。

(寺山会長)

・次回の審議会では第3次男女共同参画プランの原案を配布するので、それも合わせて協議の上、意見をもらいたい。

(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のスケジュール、次回会議日程について事務局より説明した。 (事務局)</li> <li>・次回の審議会は9月28日(水)午後1時30分より 205会議室で行います。</li> </ul> <p>(意見なし)</p>
4 閉 会	宮本会長代理
<p style="text-align: center;">上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p style="text-align: center;">平成28年 10月 7日 署名委員 <u>引間 紀江</u></p> <p style="text-align: center;">平成28年 10月 7日 署名委員 <u>阿部 典子</u></p>	